

薬研 (やげん)

主に漢方で、薬種砕き、または粉末にするのに用いる金属製の器具。細長い舟形をした、内側がV字形の器の中に薬種をいれ、上から軸のついた車輪様のものをきしらせて薬種を押し砕く。くすりおろし。参考文献 『大辞林』第三版 三省堂 1989年

天秤はかり (てんびんはかり)

薬匙 (やくし)

現在では薬さじと呼ばれていて、固形のくすり（生薬や散剤、顆粒剤）を量るために用いられる。木製、竹製、金属製などがあり大きさ、かたちも対象となる薬の量、容器、使いやすさに応じていろいろなものが工夫されている。金属を腐食させる薬には金属製のものはい用いることはできない。

薬缶 (やかん)

現在でも使われている「やかん」は、薬（漢方薬）を煎じるために使用されていた薬鐘（やくくわん）の発音が変化したもので、“薬缶”の字が当てられた。銅製などが多く用いられたため、現在でも日本薬局方でエキス剤、流エキス剤には、容器に由来する有害な重金属を試験する「重金属試験法」が規定されている。

薬籠 (やくろう)

「根本皮などを薬研（やげん）で細かい粉にした薬や、煎（せん）じ薬を入れた薬箱。堆朱（ついしゅ）製の豪華なものから、簡単な引き出し箱にしたもの、あるいは重ね箱にした塗り箱などがある。いずれも漢方医が病人の家へ診察に行くとき従僕に持参させた。箱の中には数十種の薬を入れておくものとされていた。江戸時代末に印籠（いんろう）の一種に薬籠蓋（ぶた）というかぶせ蓋があるが、これは室町時代の薬籠のおもかげを示すものであろう。

以上の参考文献 日本大百科全書(ニッポニカ)、ジャパンナレッジ (オンラインデータベース), 入手先<<http://na.jkn21.com>>, (参照 2010-09-24)



城西大学水田記念図書館

Josai University Mizuta Memorial Library

「日本人の知恵、漢方」



第27回図書館まつり

2014年9月27日(土)/28日(日)

鶴ヶ島市立中央図書館

城西大学水田記念図書館 <http://libopac.josai.ac.jp>

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1

TEL 049-271-7736

本学は、「学問による人間形成」を学足として、昭和 40 年に創設されました。昭和 48 年に開設された薬学部は、薬剤師養成課程として 6 年制の薬学科、化粧品や食品、医薬品の研究開発のスペシャリストを育成する 4 年制の薬科学科、管理栄養士養成課程としての医療栄養学科があります。

現代の医療、薬学、栄養学を学習する上で、歴史的考察の資料として日本古来の漢方や医学書に触れ、先人の叡智を学ぶことも人間形成の上で重要なことです。図書館では、建学の精神に基づく学士力・人間力の涵養に資することを目的として和本、薬籠など古資料を蒐集・保存・公開しています。

日本人の知恵、“漢方”

古代中国で生まれた医学が日本に入り、日本の風土・気候・日本人の体質に合わせてわが国独自の伝統医学“漢方医学”になりました。江戸・明治時代に書かれた漢方に関する資料と、生薬および調剤に用いられた道具類をご覧ください。

1. 「本草綱目圖」 3 卷 (ほんぞうこうもくず)
李時珍原著
出版社不明 万暦頃出版
2. 「増訂本草備要」 2 卷 (ぞうていほんぞうびよう)
(清)汪昂著輯、(清)汪逢楫訂、(清)汪端較正、(清)仇濤、(清)汪鼐較
出版者 木邨吉右衛門 享保 13(1728)年出版
3. 「藥品手引艸」 2 卷 (やくひんてびきぐさ)
加地井高茂 [編]
出版者 攝陽：柏原屋清右衛門：本屋清左衛門：播磨屋九兵衛
安永 7(1778)年出版
4. 「日用藥品考」 (にちようやくひんこう)
水谷豊文撰、溶々齋先生
出版者 東壁堂 文化 7(1810)年出版
5. 「新薬百品考」 4 卷 (しんやくひゃくひんこう)
歌仙貌廉涅兒著、坪井信良譯述
出版者 英蘭堂嶋村屋利助 慶應 2(1866)年出版

6. 「贗藥鑒法：附録伍藥禁忌：完」
(がんやくかんぼう：ふろくごやくきんき：かん)
依、依、結爾別兒篤撰、石黒恒太郎譯補
出版者不明
明治 2(1869)年出版
7. 「袖珍藥説」 (しゅうちんやくせつ)
[ヨ一セフ・エッチ・ウエーゼス撰]、桑田衡平訳補、柳河春蔭閱
出版者 山城屋佐兵衛、丸屋善七、島村利助
明治 3(1870)年出版
8. 「講筵筆記薬用動物篇」 2 卷
(こうえんひつきやくようどうぶつへん)
松原新之助講義、安本徳寛筆記
出版者 英蘭堂島邨利助 (発売)
明治 11(1878)年出版
9. 「新纂薬物學」 7 卷 (しんさんやくぶつがく)
榎村清徳纂輯、藁科松伯校訂
出版者 榎村清徳、英蘭堂島村利助
明治 10(1877)年-明治 13(1880)年出版
10. 「解熱散」 (げねつさん) [引札]
11. 「朝鮮名方牛肉丸」 (ちょうせんめいほうぎゅうにくがん)
付録：諸國取次所、紙袋「代金貳朱」と朱書あり
紙袋「田中吉右衛門」の印記あり
12. 「麻疹中食シテ宜品」 (はしかちゅうにしよくしてよきしな)

生薬展示

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| ・甘草(カンゾウ) | ・桂皮(ケイヒ) | ・柴胡(サイコ) |
| ・山薬(サンヤク) | ・芍薬(シャクヤク) | ・大黄(ダイオウ) |
| ・当帰(トウキ) | ・人参(ニンジン) | ・牡丹皮(ボタンピ) |